

Cordillera Green Network Inc.

フィリピン・ルソン島山岳地方マウンテン州における教育職員を対象とした環境教育指導者養成事業

イベントの 延べ参加者数	649人
イベント参加者 の満足度	90%
活動の全体目標 に対する達成度	90%



音楽を活用したワークショップの様子

◆成果と工夫したポイント

●成果

参加したハイスクールの88%、小学校の95%、保育園・幼稚園の100%が、ワークショップで学んだ手法で環境教育を実践した。振り返りフォーラムでは100%の参加校が、今後も継続していきたいと回答した。

●工夫

経験豊富な講師を選出。自治体、教育委員会の協力を取り付け、教員が学校で実践しやすい環境を作った。

課題

マウンテン州は焼畑の拡張による森林破壊、地盤沈下、水不足などさまざまな環境問題が近年浮上してきているが、住民の環境保全に対する意識は低い。

目標

事業地の保育園からハイスクールまで、すべての学校や教育施設で環境教育が実施され、生徒はもちろん、地域住民の環境保全に対する関心が高まる。

活動内容

地方自治体、教育委員会、州の教育省から協力を取り付け、保育園からハイスクールまでの教員を対象に、地域の環境問題の現状を知り、環境保全の知識を高めるための環境教育の手法を指導した。ビジュアルアートや演劇、音楽などを使った体験型のプログラムとし、日比の専門家を講師に招いた。ワークショップに参加した教員は、各学校や教育施設でその手法を実践し、最後にその成果を子どもたちが発表する環境イベントを開催した。

達成できなかったこと

広範囲に広げてのワークショップの実施。山岳地方で交通手段が限られ、さまざまな村での実施は移動にコストと時間がかかりすぎることから見合わせた。

今後の展望

アートを使った体験型環境教育の手法が、3年間の事業地では継続されていく。また、近隣地域にも伝搬していく。



環境イベントでの
子どもたちの作品の展示